

## ドッペルゲンガードメイン

JJ1SXA/池

「私は、Gメールを使っているが、時々不達になることがあり、皆さんにご迷惑をかけていましたが、この件に関し、西田OMに詳細なご教示いただき、設定を見直し、一応修正点は修正しました、多分、これで解決かとは思いますが。

クイック返信の時に、宛先が、「jj1sxa@gmail.com」である筈が、「jj1sxa@gmai.com」とgmailの最後の「l」が抜けて間違っただレスになってしまっていることがあり、これに気づかず送信すると、このメルアドは実在なのでエラーメールは帰って来ない、送信者は間違っただ所へ送ったことに気づかない、何故、そうなったのかがわかっていないので、再度同じことが起こるかも知れません。

「jj1sxa@gmail.com」のgmailの最後のlが無い「jj1sxa@gmai.com」というのは、「ドッペルゲンガードメイン」というようだ、ドッペルゲンガーとは、自分とそっくりな人の姿を自分で見る幻覚の一種のことであり、ドッペルゲンガーに遭遇すると、その人物の「死の前兆」とも言われている、ここから、そっくりなドメイン名のことを「ドッペルゲンガードメイン」と呼ばれるようになったそうです。

URL、メールアドレスなどを入力する際の入力ミスを狙った誘導、情報窃取行為をタイポスクワッチング (Typosquatting) と呼ぶが、ドッペルゲンガードメインは、このタイポスクワッチングを誘い、情報窃取などの目的で設置されたドメインで、設置自体は違法では無いようで厄介だ、URL、メールアドレスなどの入力には十分注意し、誤入力の無いようにしなければいけない。

### ここからは、別内容

紙面が余ったので、JARLコンテスト改正規約に関して一言。

JARLコンテスト規約改正の趣旨を要約すると、次の2点です。

#### (1) コンテスト期間中

Webクラスター、携帯電話、メール、チャット、SNSなどのアマチュア無線以外の手段を用いたセルフスポッティング類似行為、ならびにスポットや投稿を依頼する行為を禁止します。

#### (2) コンテスト終了後

SNS、ブログ、Web情報、電子QSLといったアマチュア無線以外の手段によって得た情報を使って交信ログ作成、交信確認、コールサインやナンバーの修正を行うことを明示的に禁止する。

アマチュア無線は本来、紳士の趣味である筈で、アワード、コンテスト等にもその趣旨は生きてる筈だが、近年、様々な技術の発展に伴い、それらを利用した狡猾な姑息な手段で、成績アップを図る局が出てきたための対策だ。

設備に金をかけられる者とかけられない者で差がつくのは止むを得ないが、後は、自分の持てる技術で勝負するのが筋だろう、姑息な手段を弄してアップした成績に満足するような輩は、まともなハムとは認めない…と、書いてはみたが、単なる元・老・ヘボCWコンテスターの取るに足らない愚痴か？

(2023年6月記)